

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月1日	記入者		連絡先	内線2599
平成18年度部名	教育総務部	課名	学務課	課長名	入江建夫
平成19年度部名	こども育成部	課名	保育課	課長名	加藤通一
事務事業名	私立幼稚園就園奨励補助事業				
予算上の事務事業名	幼稚園就園奨励補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				
施策名	第1施策 幼児教育の振興				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	幼稚園就園奨励費補助金交付要綱（文部科学省初等中等教育局） 相模原市私立幼稚園就園奨励補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市幼稚園教育振興プログラム		相模原市次世代育成支援行動計画における個別計画として、幼稚園教育について、本市と私立幼稚園が連携して取り組む施策を示すもの。		
計画年次	17	年度～	21	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
私立幼稚園在園児の保護者負担軽減を図ることにより、就学前の子どもの幼稚園就園を促進するもの。				(2) 対象(誰、何)	
				私立幼稚園設置者	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
国幼稚園就園奨励費補助金交付要綱・市私立幼稚園就園奨励補助金交付要綱に基づき、在園児の保育料の減免を行う私立幼稚園設置者に対し、私立幼稚園就園奨励補助として国庫補助金に市単独分補助金を上乘せして交付した。					
<ul style="list-style-type: none"> 対象園 市内48園・市外62園・計110園 対象園児数 10,921人 補助金額 国庫補助分521,802,984円・市単独分136,572,000円・計658,392,984円 					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	国庫補助分については他市においても運用は同一であるが、本市の市単独分補助額については低水準。 [県内&近隣他市の市単独分補助金額(年額)] 相模原市12,000円 横浜市47,000円 川崎市33,500円 平塚市38,400円 町田市36,000円 八王子市32,400円				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	609,728	627,510	658,393	722,369	722,369
一般財源	482,577	496,487	520,065	531,554	531,554
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	127,151	131,023	138,328	190,815	190,815
人件費の合計	8,070	8,050	8,050	8,050	8,050
事業コスト合計	617,798	635,560	666,443	730,419	730,419
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	私立幼稚園就園奨励補助金			対象名称 と単位	園児数(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	609,728	627,510	658,393	722,369	722,369
対象数	10,643	10,704	10,921	11,552	11,552
単位あたり経費(円)	57,289	58,624	60,287	62,532	62,532
前年度比		1.02	1.03	1.04	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	就園奨励補助増減率（％）	指標式と指標の説明	本年度補助対象数/前年度補助対象数*100 補助対象数の増減により、そのニーズを見るもの。		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	98.3	100.5	102.2		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（％）	98.3	100.5	102.2		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	幼稚園就園率（％）	指標式と指標の説明	幼稚園在園児数 / 市内3～5歳児人口*100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	58.2	59.3	59.4		
目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
目標達成度（％）	97.0	98.8	99.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[良好な状態を維持する事業			
	[概ね良好な状況である事業			
	[見直しを行う必要がある事業			
	[抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			私立幼稚園在園児保護者の経済的負担感は少なくない。国においても保護者負担の軽減に向け、毎年度補助要件の緩和や単価の引き上げを図っているところ。こうした中で、子育て支援の観点からも本事業のニーズは増していると考えられることから、「拡充・充実」の評価とする。
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
現行市単独分補助額については、「幼児養育費」や「保育所教材費」と同額であり、就学前の子どもにも一律に助成を行うというスタンス。今後、市民ニーズや他市助成水準等を踏まえ、幼稚園就園奨励補助としての適正な助成水準について検討を進める必要がある。			相模原市幼稚園教育振興プログラムの改定（H22.4）との調整を図る。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			より効果的な事業の実施を進める。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			